

# 令和元年 火災の発生状況(概数値)

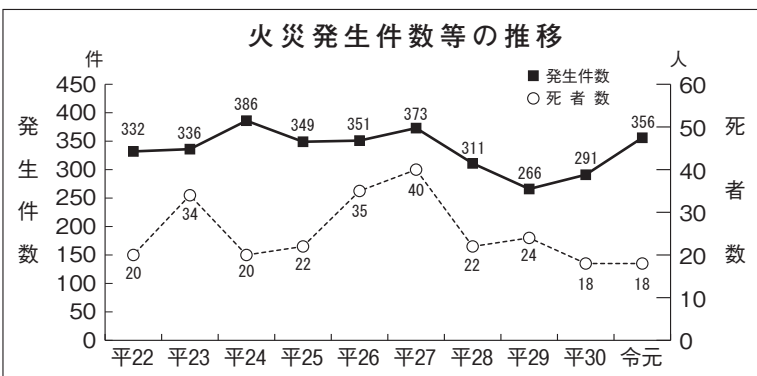
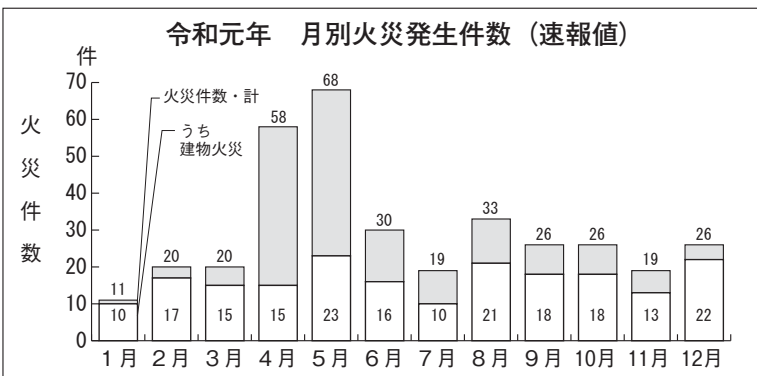
## 死者数は同数に 火災件数は前年を上回る



題 字  
初代会長 松野 盛吉  
定 価 1部 48円  
(購読料は年会費に含む)

発行人  
〒010-0951  
秋田市山王四丁目1番2号  
秋田地方総合庁舎内  
秋田県消防協会  
会長 高橋 正尚  
電話 018-867-7320  
FAX 018-863-5910  
<http://www.shoubou-akita.or.jp>  
E-mail: ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷  
〒010-0951  
秋田市山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 018-862-8760  
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>



(秋田県総合防災課調べ)

令和元年中の火災発生件数は三五六件で、前年比六五件増。内訳は、建物一九八件(前年比三二件増)、林野三二件(同一九件増)、車両三二件(同八件減)、その他九五件(同二二件増)となっている。また、平成二四年以降一〇年間の出火件数をみると、平成二四年の三三六件以降、減少傾向にあったが、二年連続で前年比増となった。

一方、火災による死者数は一八名で、前年と同数となった。

10年たった、とりカエル。

春の秋田県火災予防運動 4月5日~4月11日

ひとつずつ いいね!で確認 火の用心

制作: 一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会  
後援: 消防庁 全国消防協会  
このポスターは、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。

令和二年秋田県春の火災予防運動は、『ひとつずつ いいね!で確認 火の用心』の全国統一防火標語を掲げ、四月五日(日)から一二日(土)までの七日間、全県一斉に実施されます。

春の火災予防運動  
四月五日~一二日実施

令和元年度全国統一防火標語  
ひとつずつ  
いいね!で確認  
火の用心

住宅防火 いのちを守る七つのポイント

- 三つの習慣
  - 寝たばこは、絶対やめる。
  - ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
  - ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- 四つの対策
  - 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
  - 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
  - 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
  - お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



第43回

消防職員意見発表秋田県大会

秋田県消防長会

第四三回消防職員意見発表秋田県大会(主催・秋田県消防長会)が二月七日(金)、秋田市の「ホテルメトロポリタン秋田」で行われました。この大会は、若手消防職員に職責を再確認させ、消防士の在り方を提案させる場として毎年開催されています。

今大会では、県内一三消防本部から選ばれた若手消防職員が、日頃の業務の中から問題点を抽出し、その対応策や今後の展望などの考察を加え、それぞれのテーマに沿って、堂々と力強く訴えました。審査の結果、最優秀賞一点、優秀賞二点が選ばれました。

■最優秀賞

秋田市消防本部

消防士 佐藤 聖 華

■優秀賞

大曲仙北広域消防本部

消防士 齊藤 佳 祐

北秋田市消防本部

消防士 齊藤 卓 弥

意見発表のテーマと発表者名 (発表順)

- リードタイムコール 子供たちのために  
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 齊藤 佳 祐
- 消防業務におけるVR技術の可能性  
由利本荘市消防本部 高橋 皓 佑
- 救急車適正利用の先にある未来へ  
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 佐藤 惣太郎
- 行きつけの避難所  
五城目町消防本部 近藤 哲 矢
- PPPでPDD撲滅へ  
にかほ市消防本部 高橋 俊 二
- 災害のない世界を  
横手市消防本部 首藤 知 脩
- 火災予防への意識  
湖東地区消防本部 鎌田 朋 大
- 命を救う119番  
北秋田市消防本部 齊藤 卓 弥
- もう、未曾有ではない  
鹿角広域行政組合消防本部 木村 匠
- 心肺蘇生法を身近なものに  
男鹿地区消防一部事務組合消防本部 小澤 透
- 現場活動の「肝」  
能代山本広域市町村圏組合消防本部 佐藤 雄 司
- 逃げるが火事では役に立つ  
秋田市消防本部 佐藤 聖 華
- テロ発生時のドローンの有効性  
大館市消防本部 佐々木 優 聖



秋田市消防本部

佐藤 聖 華

逃げるが火災では役に立つ

最優秀賞の秋田市消防本部佐藤消防士は秋田県代表として、四月二三日(木)、盛岡市で開催される東北大会に出場します。ここで、最優秀賞並びに優秀賞を受賞した意見を紹介します。

い煙、鳴り響く火災警報器の音。顔は焼けるように熱く、息が苦しい。目を覚ました時にこんな事が起きていたら、あなたはどうしますか。

私は幼いころ、学校での避難や消化器の使い方を学んだ事があります。が、自宅で火災が起こった時にどうしたら良いのかを教わったことはありません。しかし、火災統計では建物火災による死傷者の86.3%が、自宅で発生しているのです。迫る炎や煙から生き延びるためには、具体的な、そして直感的な避難行動を学ぶ機会が必要です。そのため

燃えさかる赤い炎、部屋に漂う黒

に、箸を持つことや読み書きと同様、幼少期からの生活で、災害に備える知識や術を身につけていくことが、最も効果があるのではないのでしょうか。

そこで私は、体験型の火災対応シミュレーションを子どもにも実践させ、広めていくべきだと考えます。これは、火災時にどのように逃げるかを体験させ、自分の身を自分で守るスキルを身につけさせるアトラクションです。

「ピーピーって音は何だと思う。」  
「おうちの火災報知器が鳴っているの。火事のしるしだよ。」  
「火事の時に煙が出るよね、上と下どちらに行くのかな。」  
「煙は上にいくよ。煙には毒があるからたくさん吸うと動けなくなるんだ。こういう姿勢で逃げたらいいのかな。」  
「ドアが熱かったら開けちゃダメ、火はすぐそばにきてるかも。どこから逃げよう。」  
「窓から逃げるのがいいね。もし出られなかったらタオルを大きく振って、窓がなかったら壁か床を叩いて存在を知らせるの。」  
「誰かが助けに来るから絶対に諦めないで。」

私たちは、どんな行動が必要なのか、そしてなぜ必要なのかを子供たちへアドバイスし、子供には火災の

認識から脱出まで、実際に考えて動いてもらいます。対象は、発達心理学で行動の目的を考え始めると言われる4〜5歳以上の幼児、児童とします。建物の一室や煙体験用テントで人体に無害なスモークを使用し、住宅用火災警報器の音を鳴動させ、火災を認識させます。そして、消防職員が付き添い考えさせながら、建物からの避難や119番通報などへつなげ、最善の行動へと導いていくのです。子供たちは自分たちの力で解決しようと考えた結果、新たな発見や気づきが生まれます。出来なかったことが出来た時には、きつこの体験が記憶に残ることでしょう。

秋田市では、五月に消防と子ども消防の試着や救命講習体験など、市民向けのイベントを開催しています。大半の方が親子で参加しています。火災対応シミュレーションの煙に対して恐怖心のある子でも親が付き添うことで、それが払拭され参加しやすくなります。修了者には参加証などを配ることで、達成感を感じながら実践していくことができま

す。  
私は、普段の業務で子供たちを相手に、救命講習をしています。どの

子も皆、真剣な眼差しで心肺蘇生に取り組み、一生懸命やっています。

「おねえさん、去年も教えてくれたよね。」と、時間がたっても覚えていてくれた事を知ったとき、これを続けていれば大人になった時には必ず身につけていると確信しました。この火災対応シミュレーションについても、一つ一つの行動の意味を幼少期から理解した上で、何度も繰り返し必ず身につきます。それがきっと将来的に防災意識の向上、火災や死者数の減少に結びついていくのだと考えます。

燃えさかる赤い炎、部屋に漂う黒い煙、鳴り響く火災警報器の音。さあ、もう迷うことなく、逃げる事ができるはずですよ。

### リードタイムコール 子どもたちのために



大曲仙北広域  
消防本部  
齊藤 佳 祐

家で親の帰りを待つ子供たちは、「一時的な」避難行動要支援者ではないでしょうか。

避難行動要支援者とは、災害時に、自力での避難が難しい高齢者や障害のある人たちのことで、現在、消防では、このような方々の避難を支援できるよう、市町村が作成した避難行動要支援者名簿により情報を共有する仕組みができています。しかし、その名簿には、私が不安視する子供たちの名前はありません。だからこそ、避難支援の対象を広げ、「一時的な」避難行動要支援者である子供たちも、サポートしていく仕組みが必要なのです。

昨年の台風十九号。堤防が決壊し、氾濫した河川が住宅地を襲い、想定外の被害を全国各地にもたらしました。

幸いにも、私たちの住む地域は大きな被害がありませんでしたが、宅地への浸水が発生し、私は警戒のため出動しました。現場は、庭先まで浸水した住宅。ふと二階に目を向けると、窓から一人の男の子がこちらを見ていました。しかし、目が合った途端、隠れるようにその姿は消えてしまったのです。周辺の水が引くまで外に出ないよう伝えるため、チャイムを鳴らしたのですが反応は無く、仕方なく表から呼びかけ、現場を引き揚げました。

「核家族」「共働き世帯」がごく普通の家庭環境になり、子供の留守番もめずらしくありません。私も、共働きの両親の元で育ち、親が帰って来るまでの間は、誰が来ても玄関を開けないよう教えられました。

しかし、危険が差し迫った状況で、誰も子供の存在に気が付かなかつたら、親の言いつけを守り玄関を開けなかつたら、その先に台風十九号のような被害が待ち受けていたら、あの男の子は一体どうなっていたでしょう。

突然発生する地震とは違い、風水害には、警報の発令から避難するまでの時間「リードタイム」があります。このリードタイムで、あの子と同じ、一時的に避難支援が必要となる子供たちを、災害から確実に守りたいのです。

そこで私は、子どもたちを風水害から守る新たな避難支援の仕組み、リードタイムコールを提案します。これは、ウェブ上での簡易通信システムです。手順は次の二ステップ。一、事前に自宅の住所と子供の人数を登録。二、子供が留守番をする時、親はそのシステムにスマートフォンなどからアクセス、避難支援の対象となる子供の名前と時間帯を入

力し、コールボタンをプッシュします。この操作を行うだけで、その時間帯に避難情報が発令された場合、私たち消防に登録情報が通報される仕組みです。高齢者や障害のある方だけでなく、一時的に避難支援が必要となる子供たちの情報をタイムリリーに把握することで、効率的かつ効果的な避難支援が可能になります。

そして、このリードタイムコールに大切なこと。それは、目に見える災害が起こっていないなくても、危険がある場合は、赤い消防車、防火服を着た私たち消防隊が駆け付けることを、子供たちに広く知ってもらおうことです。子供たちが、自らの手で玄関のドアを開けてくれることが、早期避難の第一歩になるのです。

降り続く豪雨、そこへ119番通報。「うちの子がまだ家にいるかもしれません。」「安心してください。お子さんはすでに避難しています。すぐに避難所へ行ってあげてください。」



## 命を救う119番



北秋田市消防本部  
齊藤 卓弥

「消防119番です。火事ですか、救急ですか。」「救急です。男の人が外で倒れています。お願いします。早く来てください。」

119番通報は、通報者からの助けを求める声です。通信指令員は、通報者と最初に接する窓口であり、あらゆる119番通報に適正な対応が求められます。

通報者の中で、落ち着いて話をされる方は稀であり、多くの方が興奮し緊張した状態で、目の前の状況を伝えるのが精一杯です。その中で、迅速な出動命令を出すことが、市民の命を救うために通信指令員が行える救命の第一歩となります。特に相手に応急処置などを伝える口頭指導は、傷病者の生死を左右する大切な任務です。119番入電から救命活動は始まっているのです。

私は関西出身であり、現在は専従通信指令員として勤務しています。通報者が東北弁で早口で言われた際は、言葉が分からず中々聞き取れ

ない苦勞もあります。更に東京オリンピックに向けて外国人観光客の増加に伴い多言語対応もより一層必要となります。

その中で通信指令員として更なる高みを目指すにはどうすれば良いか。通報者を安心させ、傷病者の命を一分一秒でも早く救うにはどうすれば良いか。通信指令員の大きな課題です。

そこで私は提案します。通信指令としての対応力、口頭指導技術を更に磨き、より迅速な通信指令を目指すために、各消防本部合同の通信指令競技大会を開催してはどうでしょうか。競技大会の内容として、火災、救急、救助事案の受信時の対応力と、心肺蘇生法を始めとする各種口頭指導の技術力を評価します。いかに正確に聴取し、どれだけの確かな指示を出せるかを競い合います。

競技大会を通じて他の消防本部の対応力、口頭指導技術を学ぶことで、全体を通して検討し、迅速な救命措置により通報者、要救助者を安心させることに繋がるのではないのでしょうか。

更に、競技大会の部門には専従指令員の部門と、専従指令員と署員合同の部門も開催します。署員と合同

で行うことにより、署員全体の士気の向上に繋がり、現場からの「あの時こんな情報が欲しかったです、実際の現場はこうでした。」という声を聞くことで、現場からの視点も把握することが出来ます。

そして、出場隊とのコミュニケーションが取れば、より効果的な部隊運用が期待でき、傷病者の命を一分一秒でも早く救うことが出来ます。

災害現場で迅速に対応する為には、通報者から必要な情報を把握することが重要であり、その責務を担っているのが通信指令員です。競技会を通じて、あらゆる119番通報への対応力と自信、そして通信指令員の武器である、助けを求める声を聞き逃さない耳と、相手の緊張を解す為の優しい声と心を磨き上げるのです。

助けを求めるすべての通報者にいち早く手を差し伸べ、言葉に命を吹き込み、通報者、要救助者に対し安心感を与え、言葉で命を繋ぐ。

傷病者の命を救う。一分一秒でも早く。

その強い使命感と責任を胸に。命を救う119番である為に。

## 新日本消防会館の

### 基本設計ができました

(公財) 日本消防協会は、東京都港区虎ノ門にある日本消防会館が老朽化したことから、現在、新たな会館の建設に向けて準備を進めています。

このたび基本設計が完成し、新会館の概要が公表されました。

#### ■建物概要

延床面積：約16,400㎡、地上14階、地下2階

- 1階 日本消防防災情報センター
- 2階 会議室、ホールエントランス
- 3階～5階 ニッショーホール(1000席)
- 6階～12階 事務所(消防関係団体等を配置)
- 屋上 全国消防殉職者慰霊碑
- 地下1階 飲食店舗等
- 地下2階 駐車場、機械諸室

#### ■事業費等

- ①総事業費178億円  
(設計費等4.9億円、建設費145.5億円、仮移転等経費27.8億円)
- ②財源内訳
  - ・日本消防協会内部捻出財源、寄付金、借入金 88.0億円
  - ・全国市町村振興協会助成金予定額 90.0億円



建物外観

#### ■仮事務所

- ・ヤクルト本社ビル 東京都港区東新橋一丁目1-19
- ・事務室 6階、12階、14階、15階、16階(消防関連団体も入居)
- ・ホール 550席 (ニッショーホールとして活用)  
(消防殉職者慰霊祭も開催可能)
- ・近隣ビル 不足スペースは近隣ビルで確保

#### ■消防殉職者慰霊碑

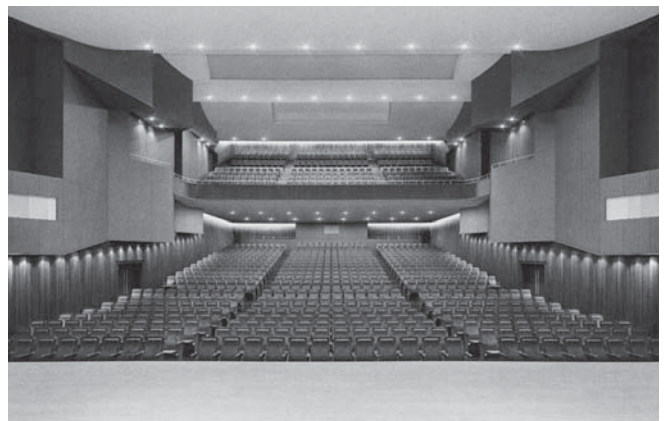
- ・ヤクルト本社ビル内に仮設置する予定

#### ■今後のスケジュール

- ・令和2年 9月～10月 仮事務所に移転
- ・令和2年11月～令和3年7月 現会館解体工事
- ・令和3年 8月～令和6年3月 新会館建設工事



全国消防殉職者慰霊碑(屋上)



ニッショーホール(客席)

### 消防防災科学技術賞

#### の作品を募集します

消防庁消防研究センター

消防防災機器等の開発・改良、消防防災科学に関する論文及び原因調査に関する事例報告の分野において、優れた業績をあげた個人や団体を表彰することにより、消防科学技術の高度化と消防防災活動の活性化に資することを目的として、「消防防

災機器等の開発・改良」、「消防防災科学論文」、「原因調査事例」を募集します。皆様のご応募をお待ちしております。

### 第二七回全国消防操法大会 の出場順が決まりました

令和二年二月二五日(火)、日本消防協会において、第二七回全国消防操法大会の出場順の抽選が行わ

れ、秋田県は「小型ポンプの部」出場予定二四隊中六番目に決定しました。

なお、詳細は四月に開催される大会運営委員会終了後、日本消防協会から通知されます。

#### 開催日

令和二年一〇月一六日(金)

#### 開催場所

千葉県消防学校 (千葉県市原市)

**募集区分**

- ▼消防職員・消防団員等の部
  - A. 消防防災機器等の開発・改良
  - B. 消防防災科学論文
  - C. 原因調査事例
- ▼一般の部
  - D. 消防防災機器等の開発・改良
  - E. 消防防災科学論文

**表彰**

優れた作品には、令和2年11月に行われる表彰式において消防庁長官より表彰状及び副賞を授与します。

●応募作品はホームページにて紹介します。●表彰作品の公表は8月頃の予定です。●詳細は消防研究センターホームページをご覧ください。

過去の表彰作品

- 熱中症傷病者の深部体温を効率的に下げる冷却マットの開発について
- 原因追究困難事案から火災調査サポートアプリの開発へ
- 農業原体製造プラント原料ホッパーの爆発火災事例
- 高齢者単身世帯が救急活動に与える影響とICTを活用した取り組み

消防庁 消防研究センター 研究企画室

TEL 0422-44-8331 MAIL hyosho2020@fri.go.jp URL http://nrifd.fdma.go.jp/

トーハツ消防ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
消防被服全般  
秋田県代理店

総合防災設備センター

## 株式会社 高義商会

(営業種目)

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 火災報知器各種
- 消火器各種

〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32 TEL(0183)(42)2125  
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

## 株式会社 夕力ギ

秋田県横手市寿町1番28号  
TEL (0182)(32)3880  
FAX (0182)(32)0839



(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイホース
- シバウラポンプ
- 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>  
E-mail [ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp)

◆ 消 防 団 員 研 修 ◆

秋田県消防学校

第6期幹部教育指揮幹部科分団指揮課程			第65期基礎教育			
令和2年2月29日(土)～3月1日(日)			教育期間	令和2年3月7日(土)～8日(日)		
30人 (14消防団)			入校者数	11人 (6消防団)		
分団長、副分団長の階級にある者			対象者	入団して概ね3年未満の消防団員		
			集合写真			
消防団名	階級	氏名	入校者 名簿	消防団名	階級	氏名
鹿角市	副分団長	阿部 聖		北秋田市	団員	長崎 成俊
大館市	副分団長	田村 幸喜		北秋田市	団員	亀山 春樹
北秋田市	副分団長	佐藤 浩		八郎潟町	団員	伊藤 周
上小阿仁村	分団長	高田 恒		秋田市	団員	三浦 晃平
上小阿仁村	副分団長	鈴木 清光		秋田市	団員	小貫 晃平
能代市	副分団長	小玉 昭		由利本荘市	団員	佐林 卓
三種町	副分団長	石川 正志		仙北市	団員	羽川 信行
男鹿市	分団長	鎌田 誠喜		仙北市	団員	工藤 周
潟上市	分団長	三浦 善広		湯沢市	団員	柴田 直
潟上市	部長	菅原 一彦		湯沢市	団員	柴田 裕也
秋田市	副分団長	星野 裕		湯沢市	団員	遠藤 実
秋田市	副分団長	川村 良美				
秋田市	副分団長	渡邊 隼人				
秋田市	副分団長	佐藤 勉				
秋田市	分団長	那須 潤昌				
由利本荘市	副分団長	吉田 誠一				
由利本荘市	副分団長	佐藤 正樹				
由利本荘市	副分団長	石井 忠幸				
由利本荘市	副分団長	遠藤 信弘				
由利本荘市	副分団長	高橋 豊昭				
にかほ市	副分団長	鳥潟 秀樹				
にかほ市	副分団長	相良 裕				
大仙市	副分団長	佐々木 隆				
横手市	分団長	大村田 信夫				
横手市	分団長	佐藤 洋幸				
横手市	分団長	高橋 栄一				
横手市	分団長	奥山 裕寸				
湯沢市	副分団長	阿部 美喜夫				
湯沢市	副分団長	由利 哲彦				
湯沢市	副分団長	藤原 幸雄				

消防 半天・帯・団旗  
優勝旗・ゼッケン  
手拭・タオル・のれん  
旗幕類名入染物専門

寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

### 防火ポスターコンクール 入賞作品を展示しています

第五〇回防火ポスターコンクールの入賞作品(小学生の部八点、中学生の部一六点)を秋田県防災学習館(由利本荘市岩城)に展示しています。展示期間は一月二八日(土)までです。是非、お立ち寄りください。



これに先立ち、二月二二日(土)から三月一日(日)まで、秋田市にぎわい交流館AU(秋田市中通)に展示し、多くの方々にご覧いただきまし



また、二月一六日(日)のさきがけ子ども新聞で、コンクールの記事をご覧になった「カヌーシーダ秋田」(大館市)代表小林勉氏から、応募した子どもたちに、秋田杉の端材で作ったミニチュア拍子木をプレゼントしたいと申し出があり、早速応募者に届けました。小林様、誠にありがとうございました。



### 「消防秋田」が 隔月発行になります

皆様にご愛読いただいている「消防秋田」は、協会事業の再編により、令和二年度から、原則として偶数月の隔月発行とすることになりました。

今後、有益な情報を提供できるよう努めてまいります。どうぞ、よろしく願います。

今月の「支部情報アラカルト」はお休みします。ご理解願います。

### 火災の発生状況(速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	令和2年		令和元年			同期比較	
	2月	累計	2月	累計	年計	2月	累計
建物	18	28	17	27	198	1	1
林野	0	0	0	0	32	0	0
車輛	1	4	3	4	31	-2	0
その他	1	3	0	0	95	1	3
合計	20	35	20	31	356	0	4
死者数	2	2	2	5	18	0	-3
負傷者数	1	3	11	17	87	-10	-14

モリタ消防ポンプ  
桜ホース・ソフト吸管  
各種消火器

シバウラポンプ  
消防被服一式  
消防機器一式

株式会社 能代消防センター  
株式会社 協立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57  
TEL (0185) (52) 6494  
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防  
ポンプ自動車  
小型ポンプ  
ホース

設 備  
火災報知器  
スプリンクラー  
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)  
猿田興業ビル3F FAX 018 (824) 3651